

## 取組事例

(所定外労働削減) (年休取得促進) 多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)



企業名：株式会社西京銀行	所在地：山口県周南市
社員数：969名	業種：金融業、保険業

### 取組の目的：

早期退行（退社）の実現及び年次有給休暇の取得促進等によりワーク・ライフ・バランスを推進する。

### 取組の概要：

#### 〈現在の取組〉

##### ○営業店舗の退行時刻の目標の設定

目標時刻を18時30分と設定し、その達成状況を営業店舗の業績評価の指標の一つに追加した。

##### ○業務の見直し

業務全体の効率化を図るため、営業店舗で行っていた業務の一部を本店へ集約化した。

##### ○会議の開始時間の見直し

営業店舗で事務作業が終了する時刻（17時30分）に開催していた会議について、就業時間内に会議が終了するように開催時刻を15時30分に改めた。

##### ○本店における早期退行の取組

人事部が「見廻り隊」となって各部署を廻り、早期退行を促している。

##### ○特別休暇の制度化

配偶者の出産に伴う男性の育児休暇として5日間（有給）、永年勤続休暇として勤続10年目、20年目、30年目にそれぞれ同じく5日間（有給）取得できるよう制度化した。

##### ○年次有給休暇の取得促進

年に1回連続5日間の取得及び毎月1日の取得を勧奨している。

#### 〈今後の取組〉

##### ○更なる早期退行の実現

退行時刻の目標を18時00分に改める。

##### ○更なる年次有給休暇の取得促進

支店長自ら取得するよう促す。

**現状とこれまでの取組の効果：**

**○早期退行の実現及び効率的な業務の推進**

営業店舗の平成 20 年 3 月の平均退行時刻が 19 時 30 分であったものが、平成 26 年 3 月の同時刻が 18 時 30 分と約 1 時間の早期退行となった。社員も 18 時 30 分までに作業を終わらせようとするため、効率的な業務を意識するようになってきた。

時間外労働時間数で見ても、営業店舗における平成 21 年 11 月の 1 人平均 11 時間 36 分から平成 26 年同月の 10 時間 37 分と約 1 時間減少した。

**○女性社員の働きやすさの実現**

出産に伴い退職する女性社員がいなくなった。

(H27. 2)